

西藤議員 1001 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 大阪・関西万博、IR 予定地との地理的優位性を生かす具体的で実現可能な施策はあるか。

答弁要旨

議員ご指摘のとおり、本市と大阪南港、舞洲は車で30分以内、公共交通機関を利用しても1時間以内の交通圏内にあります。

これまでご答弁申し上げておりますとおり、「重点取組地域における尼崎版観光地域づくり戦略」において、ターゲットの1つとして「関西、特に大阪に訪れる外国人個人旅行者」の獲得を掲げており、大阪・関西万博等で来られた観光客を本市へ誘引すべく、今後、地理的優位性を生かした具体的な取り組みを検討してまいります。

以上

西藤議員1002 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 初年度入城者数の達成の目途は立っているか。

答弁要旨

平成31年3月29日の一般公開から現在

までの約2か月半の間に、約68,000名という多くの方に有料入城ゾーンへご来城いただきました。

マスコミ等にも大きく取り上げられたこともあり、公開初日から多くの方にご来城いただき、一般公開イベントを開催した3日間で約8,000名、10連休となったゴールデンウィークで約18,000名など公開初年度の特需をしっかりと来城者数につなげることが出来たと考えております。

このような状況から初年度目標の有料入城者数157,500人に向けて順調なスタートが切れたと考えております。

今後も効果的なイベントやPRを積極的に実施し、目標の早期達成とさらなる入城者数獲得に向け、取り組んでまいります。

以上

質問要旨 船出と舞洲を結ぶ沈埋トンネルを作るのはどうか。

答弁要旨

ご提案の件について、臨海部における交通アクセスとしては、既存道路ネットワークである阪神高速5号湾岸線において、中島ランプと湾岸舞洲ランプを結ぶネットワークが整備されている状況であり、交通容量にも十分な余裕があります。

また、大阪側においても交通アクセスについては、阪神高速湾岸線などの既存の高速道路ネットワークの活用による輸送を基本とすることとされております。

こうしたことから、お尋ねのトンネルについては、利用者が限定され、費用対効果の観点から事業化の実現性は低いものと考えております。

以上

質問要旨 恒久的輸送手段として、舞洲から船出までの
アクセスルートについて検討を行う組織である「沈設ト
ンネル検討室」を設置してはどうか。

答弁要旨

議員ご指摘の恒久的輸送手段として、舞洲から尼崎
へのアクセスルートにつきましては、先ほど都市整備局
長からご答弁申し上げたとおり、沈設トンネルの建設は
考えておりませんことから、議員ご指摘の「検討室」を設
置する考えはございません。

以 上

質問要旨 阪神線以南(船出や東海岸町など)に住宅地
開発を考えてみてはどうか。

答弁要旨

阪神線以南には、用途地域上、住宅の立地が可能な地域も一部指定しておりますが、午前中の安浪議員のご質問にお答えした通り、東海岸町や船出を含む国道43号線以南の臨海地域は古くから工業地として利用され、今後も事業所の良い操業環境の保全を目指すため、工業専用地域に指定しております。

また、「尼崎市立地適正化計画」においても、同様の理由で産業集積拠点の推進・強化を図る地区とし、居住誘導区域に含めておりません。

こうしたことから阪神線以南の、工業専用地域に指定している臨海地域において、住宅開発を行う考えはありません。

以 上

質問要旨 例えば IR での労働力を見越した住宅や宿泊施設の開発の検討も視野に入れてはどうか。

答弁要旨

先ほども答弁いたしました。当該(臨海)地域は事業所の良好な操業環境の保全を目的に工業専用地域に指定しているため、住宅や宿泊施設の誘導は考えておりません。

以上

質問要旨 優良企業の誘致活動について、具体的な施策
はあるか。

答弁要旨

尼崎市は公共交通機関及び高速道路網が発達しており、特に隣接する大阪市とは短時間で行き来が可能となっております。

この利点を活かし、本市では平成16年から尼崎市企業投資活動促進制度を運用して、主として製造業の企業を誘致してまいりましたが、この制度は、生産施設を持つ工場機能だけでなく、製造事業者のサテライトオフィスも対象としております。

賃貸オフィスの賃料については補助金交付の対象としておりませんが、投資額や従業員の規模といった要件を満たした場合に、オフィス設置のために固定資産を取得すれば、その固定資産税相当額を補助金として交付するものであり、今後も制度を十分に周知し、大阪市をはじめ周辺他都市からの企業誘致活動に取り組んでまいります。

以上

質問要旨 高速道路の渋滞緩和の為に、阪神高速5号

湾岸線と分岐して、南港から夢洲⇒舞洲⇒船出⇒平

左衛門町⇒鳴尾浜へ高速道路を整備するのはどうか。

答弁要旨

先ほど申し上げましたように、臨海部の交通アクセスについては、既存道路ネットワークである阪神高速5号湾岸線において、交通容量に十分な余裕があり、臨海部の各地へのアクセスも可能となっていることから必要性は低く、また、費用対効果の観点からも整備の可能性は低いものと考えております。

以上

質問要旨 庄下川におけるたらい舟などの実施をどう
考えているか。

答弁要旨

本市と尼崎城の関係で縁のある岐阜県大垣市が、たらい舟や手こぎボートを活用した事業を毎年実施していることからヒアリングを行ったところ、たらい舟が非常に重く、その運搬手法や費用面での負担は大きいとのことをございました。

本市の場合、地上から庄下川の水面までの距離が長いことから、たらい舟を地上と水面それぞれに運搬することが困難であること、また、舟やサップボードにも共通しますが、庄下川の水面からは尼崎城を含めた周辺の景色が見えにくいことが想定されること、さらに、現在県による庄下川の護岸工事が実施されていること課題もありに加えて、費用面の庄下川でのたらい舟などの実施は考えておりません。

以上

西藤議員2008 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 庄下川に川床を設置するのはどうか。

答弁要旨

尼崎城址公園付近の庄下川につきましては、河川敷を遊歩道として利用しており、幅員も狭いことから川床のような活用は困難な状況でございます。

以上

西藤議員2009 作成部局 経済環境局 No.1

質問要旨 市民参加型プロジェクションマッピングを開催してはいかがか

答弁要旨

一定規模のプロジェクションマッピングを開催すると
なると、多大な費用も掛かり、城全体に投影するには
城の形状が複雑なことや、敷地面積が限られることな
ど物理的な制約も多くなり、現時点では実現は難しい
と考えております。

しかしながら、ご提案いただきました市民参加型の
プロジェクションマッピングにつきましては、他市事例
を参考にしながら、お城のみならず、地域に点在する
歴史資源(旧尼崎警察署、中央図書館、開明庁舎な
ど)の活用も視野に入れ検討してまいります。

以上

西藤議員2010 作成部局 経済環境局 No.1
質問要旨 御朱印を活用した事業を実施してみてもど
うか。

答弁要旨

重点取組地域にございます櫻井神社や尼崎えびす
神社、貴布禰神社などにおきましては、既に御朱印の
取組が実施されており、引き続き周遊促進に繋げてい
きたいと考えております。

また、尼崎城の御朱印につきましても、他城での取
組事例も参考にしながら現在検討しているところでご
ざいます。

以上